

平成30年度・令和元年度進行管理・評価シート
横手市歴史的風致維持向上計画（平成30年7月11日認定）

（最終変更令和元年7月9日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 横手市増田伝統的建造物群保存地区修理等事業	3
2 横手市増田伝統的建造物群保存地区防災施設等整備事業	4
3 重要文化財佐藤家住宅防災施設等整備事業	5
4 横手市文化遺産総合活用推進事業 (歴史文化基本構想等策定事業)	6
5 建造物文化財等調査事業	7
6 後三年合戦関連遺跡群調査事業	8
7 羽黒町・上内町地区景観重点地区景観形成事業	9
8 増田地区街なみ環境整備事業	10
9 増田地区景観重点地区景観形成事業	11
10 横手公園整備事業	12
11 「横手を学ぶ郷土学」事業	13
12 横手の送り盆まつり後継者育成支援事業	14
13 文化財探訪支援事業(後三年合戦関連史跡)	15
14 ふるさと再発見地域探訪支援事業	16
15 りんご農家後継者・担い手育成事業	17
16 りんごの歴史探訪支援事業	18
17 郷土文化保存伝承支援事業	19
18 後三年合戦周知事業	20
19 りんごまつり開催支援事業	21
20 サインガイドライン策定事業	22
21 歴史的風致情報発信事業	23
22 市内歴史的風致映像作成事業	24
23 都市計画道路八幡根岸線事業	25
24 ボランティアガイド養成事業	26
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、指定	27
2 文化財の保存と活用	28
3 文化財の修理	29
4 文化財の防災	30
5 文化財の普及・啓発の取組、民間団体への支援・協力	31
6 埋蔵文化財	32
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 (報道等タイトル名)	33
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 歴史的風致維持向上計画の認識の促進	35
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	36

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
計画実施のための組織体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

歴史的風致の維持向上を図るためには、様々な分野の多岐にわたる施策を実施する必要があり、関係各課との意識と情報の共有が不可欠である。このようなことから、本計画を推進するにあたり、まちづくり推進部文化振興課を事務局に、文化財保護課、都市計画課、農業振興課等と連携した庁内体制を構築していく。

また、実施にあたっては、町内会や地域運営組織、地区会議、文化財愛護団体等と協働で進めるほか、国や秋田県・秋田県教育委員会と協議を行い、助言や支援を得るとともに、歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「横手市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の推進や変更、事業の円滑な実施について協議を行う。必要に応じて都市計画審議会等の各審議会に報告し助言を得るほか、文化財等所有者や関係団体との連携を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

関係部署との協議等により事業の進捗と計画の促進を図った。

【平成30年度】

- ・庁内関係課室所による事業調整会議を3回実施した(平成30年8月24日、平成30年11月7日、平成31年2月19日)。
- ・横手市歴史的風致維持向上協議会を実施した(平成31年3月2日)。

【令和元年度】

- ・庁内関係課室所による事業調整会議を3回実施した(平成31年4月25日、令和元年7月1日、令和元年11月19日)。
- ・横手市歴史的風致維持向上協議会を実施した(令和元年7月9日)。

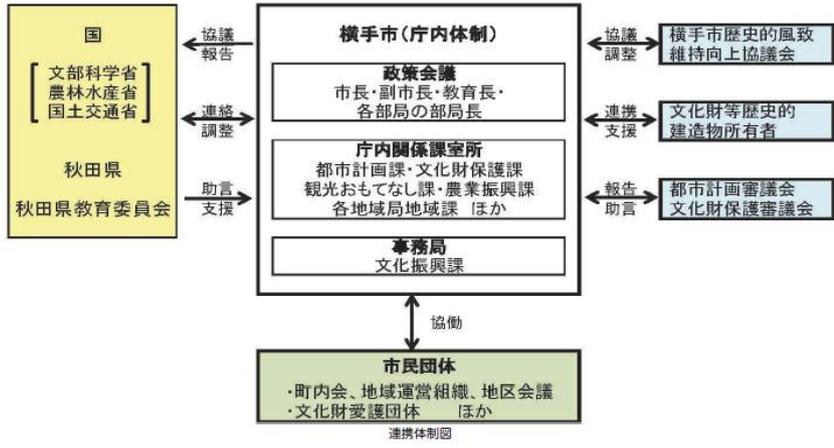
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

各事業の進捗状況等について、今後も事業担当課との協議・連携を密に行い調整する。

状況を示す写真や資料等



横手市歴史的風致維持向上計画の実施体制(令和元年度)



事業調整会議
(平成30年11月7日実施)



横手市歴史的風致維持向上協議会
(令和元年7月9日実施)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度
		平成30年度・令和元年度
		現在の状況
景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 横手市の景観施策は、平成16年(2004)に施行された景観法に基づき、積極的に横手の景観保全と創造に取り組んでいる。平成21年(2009)に横手市は景観行政団体になっており、その施策は、景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例の4つの柱から成り立っている。景観計画と景観地区に関する都市計画は、「山と川、豊かな歴史あふれる景観を守り、育て、つなげる田園都市」を目指している。横手市景観計画では、自然景観、田園景観及び市街地景観の3つの景観に区分し、それらを横断する景観形成軸(田園景観形成軸、水辺景観形成軸、都市景観形成軸、丘陵地の景観形成軸)を設定することで、景観の形成・維持の方針が定められている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建築物や工作物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更、開発行為などのうち、景観への影響が大きいものについては、景観法第16条に基づく届出制度により、景観誘導を図っている。
 【平成30年度】届出対象行為の件数: 37件
 【令和元年度】届出対象行為の件数: 58件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
 景観づくりの基準は、「自然景観」「田園景観」「市街地景観」のゾーン別に設定しているが、市街地景観ゾーンに含まれる範囲が、「中心拠点エリア」、「副拠点エリア」、「まちなか居住エリア」、「一般居住エリア」、「沿道商業エリア」と、地域特性が異なるエリアを現在は一律の基準で規制している。そのため、実態との乖離が生じており、そうした乖離を解消し、より横手市の地域特性や風土を活かした景観形成を進めていくため、景観計画における「景観づくりの基準」の見直しや歴史的資産の再評価により景観重点地区の追加についても検討していく。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



景観重点地区における建築物外観の変更(実施前)

➔



景観重点地区における建築物外観の変更(実施後)

【令和元年度】




景観重点地区における建築物外観の変更(実施前)

➔




景観重点地区における建築物外観の変更(実施後)

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度・令和元年度
		現在の状況
横手市増田伝統的建造物群保存地区修理等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和9年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)(平成30年度・令和元年度)
重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県)(平成30年度・令和元年度)

計画に記載している内容 横手市増田伝統的建造物群保存地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及びそれ以外の建造物等の修景を行う所有者への支援、市所有の伝統的建造物の修理を行う。また、耐震診断や耐震補強についても必要に応じて行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】4件の修理等事業を実施した。
 ・旧山田屋旅館主屋修理事業 ・丸星石田薬局主屋修理事業 ・旧村田薬局土蔵・付属屋修理事業
 ・旧村田薬局塀修景事業
 【令和元年度】3件の修理等事業を実施した。
 ・旧勇駒酒造鞆付土蔵修理事業 ・満福寺本堂修理事業 ・鈴木家土蔵修理事業

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 歴史的なまちなみを保護・継承するとともに、修理技術者に対する修理技術(伝統工法)向上にもつなげるなど、様々な角度から歴史的風致の維持向上に結び付ける意識づけが必要である。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】

丸星石田薬局主屋修理事業



実施前



実施後

【令和元年度】

鈴木家土蔵(登録有形文化財)修理事業



実施前



実施後

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
横手市増田伝統的建造物群保存地区防災施設等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)(平成30年度・令和元年度)
重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県)(平成30年度・令和元年度)

計画に記載している内容 横手市増田伝統的建造物群保存地区防災計画に基づき、保存地区内に耐震型防火水槽と易操作性消火栓、地上式消火栓の新設を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

防災施設の設置を実施した。
 【平成30年度】
 ・易操作性消火栓4基、地上式消火栓3基、耐震型防火水槽2基を設置した。
 【令和元年度】
 ・易操作性消火栓7基、地上式消火栓1基、耐震型防火水槽1基を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防災施設の整備の拡充に着手したが、今後も引き続き防災計画に基づき整備を継続する。また、住民を対象とした防災訓練等も実施する。令和2年度に最終年を迎える予定であるが、計画変更も視野に入れながら4年目以降の整備について検討する。

状況を示す写真や資料等



整備事業個所図

- 易操作性消火栓
- 地上式消火栓
- 耐震型防火水槽

【平成30年度】



耐震型防火水槽新設工事(七日町)

【令和元年度】



地上式消火栓の設置

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
重要文化財佐藤家住宅防災施設等整備事業		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 横手市増田伝統的建造物群保存地区内の重要文化財佐藤家住宅の防災施設の整備を実施する所有者に支援を行い、災害リスクの軽減と貴重な文化財の保護を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

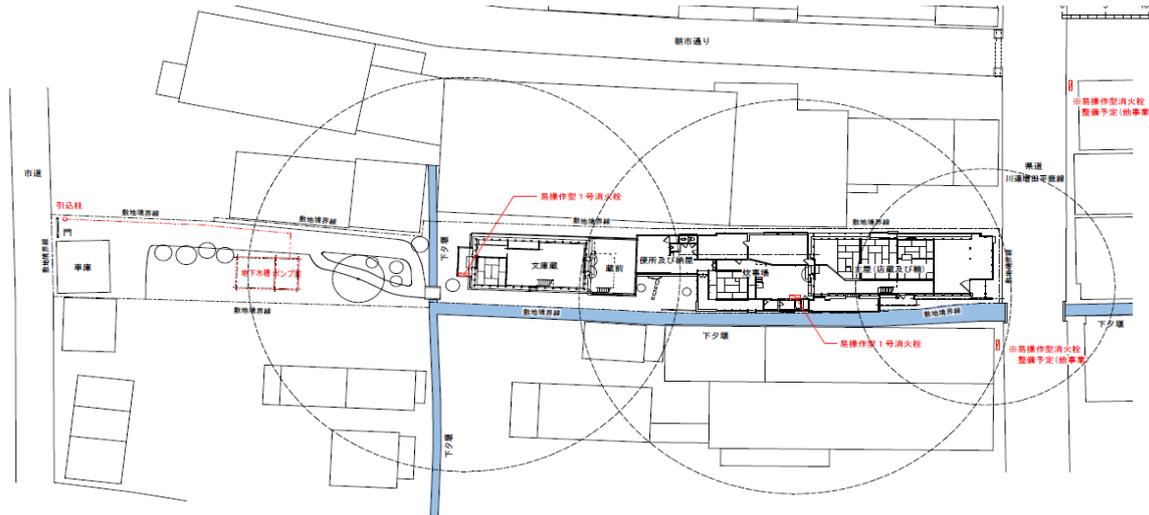
重要文化財佐藤家住宅の防災施設整備にあたり、建物配置や敷地形状などから必要とされる防災施設を決定するため、基本設計を行う所有者に対して市単独補助として支援を行った。その結果、佐藤家住宅に有効的な防災設備(防火貯水槽、易操作消火栓、自動火災報知機など)の確認を行い、基本設計が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 横手市増田伝統的建造物群保存地区防災計画や消防とも連携を図りながら、より効果的な防火体制となるよう実施する。

状況を示す写真や資料等

- 敷地延長：東西約111m
- 有効的な防災設備
 - ①地下消火水槽(30t)・ポンプ室
 - ②易操作消火栓 2基
 - ③火災報知器(受信機、総合盤、各種型感知器)
 - ④消火器



保存地区防災設備(消火栓)の有効範囲確認の様子

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
		現在の状況	
横手市文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想等策定事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 文化芸術振興費補助金(平成30年度・令和元年度)

計画に記載している内容 地域に存在する文化財を、指定・未指定に関わらず幅広く捉え的確に把握し、市内の文化財をその周辺まで含め総合的に活用・推進を図るため、歴史文化基本構想の策定に着手する。(なお、文化財保護法の改正に伴い創設される文化財保存活用地域計画への移行も視野に検討する)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】
 事前把握により、行政等が過去に実施した文化財調査の状況や各種関連計画等を把握し約1,600件の歴史資産を把握した。その結果に基づき、地域の文化財保護団体へ悉皆調査を委託し、文化的景観の観点から約70カ所の湧水地点と17カ所の河港等の跡地を調査し、これを核とする関連文化財の状況を把握した。また、まちあるきワークショップ形式で市内6地域で地域住民参加による文化財調査を実施し約300件の歴史資産を把握した。
 調査の方針や内容については、歴史文化基本構想策定委員会で構成する文化財調査部会を設置し、委員5名により検討を行った。文化財調査部会は2回実施し、その検討内容を調査事業に反映させるとともに、歴史文化基本構想策定委員会に対し報告を行った。歴史文化基本構想策定委員会は3回実施し、調査の状況や歴史文化基本構想の策定状況等についての協議を行った。
 平成31年3月2日に歴史的風致維持向上計画の認定記念講演会と併せて、中間報告会を開催し250名の参加があった。

【令和元年度】
 地域住民参加の文化財調査であるまちあるきワークショップを2地域11地区で実施し、歴史資産等125件あまりの現状を把握した。平成30年度からの調査で把握した歴史素材について、「歴史文化遺産資産リスト」への取りまとめ作業を行った。また、市内各地域の歴史文化遺産や地域事情に精通した地元有識者を「地域調査員」と位置づけ、8地域32地区の歴史文化の特徴をストーリー形式で調査し、把握に努めた。
 歴史文化基本構想策定委員会は3回実施し、調査の状況や策定状況等についての協議を行った。また、外部有識者を講師として委員及び職員向けの研修会を2回開催した。
 令和2年2月24日に歴史文化基本構想策定中間報告会を実施し80名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和2年度より文化財保存活用地域計画の策定に移行し作業を進める。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】

- 横手市歴史文化基本構想策定委員会
 - 第1回 平成30年6月3日
 - 第2回 平成30年10月30日
 - 第3回 平成31年 3月2日
- 横手市歴史文化基本構想策定委員会文化財調査部会
 - 第1回 平成30年6月4日
 - 第2回 平成30年9月26日
- 悉皆調査
 - 調査委託期間:平成30年6月29日～平成30年10月31日
 - 調査内容:湧水に関する素材調査と雄物川流域に関する素材調査
- まちあるきワークショップ
 - 東部ブロック[山内地域] (6/23、7/21、8/4) 参加者 20名
 - 中部ブロック[平鹿地域、十文字地域] (8/11、9/1、9/30) 参加者 27名
 - 西部ブロック[雄物川地域、大森地域、大雄地域] (7/14、8/18、9/9) 参加者 49名
- 中間報告会(歴史的風致維持向上計画の認定記念講演会と併せて)参加者 250名



まちあるきワークショップの様子

【令和元年度】

- 横手市歴史文化基本構想策定委員会
 - 第1回 令和元年6月25日(同日研修会開催)
 - 第2回 令和元年10月15日(")
 - 第3回 令和2年2月24日
- まちあるきワークショップ
 - 増田地域(4/27、5/11) 参加者 29名
 - 横手地域(5/25) 参加者 34名
- 歴史文化基本構想策定中間報告会
 令和2年2月24日 参加者80名



横手市歴史文化基本構想策定委員会

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
建造物文化財等調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域における歴史的風致を構成する歴史的建造物を中心に、市内全域を対象とした未調査の歴史的建造物の調査を実施し、文化財的価値付けを検討し、保護措置を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】「今野商店店蔵」、「今野商店土蔵」と「東北聖書バプテスト十字架教会」について、平成30年11月2日付けで国登録有形文化財に登録された。また、歴史的建造物の調査を1件実施した。
 【令和元年度】歴史的建造物の調査を3件と1件補足調査も実施した。継続調査してきた旧真人発電所等は、秋田県公文書館や東北電力(仙台市)から当時の関連資料なども発見され、国登録申請へ向けた作業が進捗した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

所有者から調査の同意を得ることが容易でない場合があるが、趣旨や制度を丁寧に説明し、調査件数を多くしていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



国登録有形文化財
(東北聖書バプテスト十字架教会)



国登録有形文化財
(今野商店店蔵、今野商店土蔵)

【令和元年度】



個人住宅(大森地域)



調査を実施した建造物

旧真人発電所水槽施設

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度・令和元年度
--	--------	--------------

項目	現在の状況
後三年合戦関連遺跡群調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成22年度～令和元年度
------	--------------

支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)(平成30年度・令和元年度) 文化財保護管理費補助金(県)(平成30年度・令和元年度)
-------	--

計画に記載している内容	推定地となっている金沢柵をはじめとした後三年合戦関連遺跡群の場所を特定するために、金沢城跡等の関連遺跡群において、科学的な方法に基づいた発掘調査を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度より金沢柵推定地(金沢城跡)第2次5か年計画に基づき、後三年合戦関連遺跡整備指導委員会及び検討会の指導を仰ぎながら発掘調査を実施している。
 【平成30年度】柵列及び櫓の位置や範囲の特定をめざして「景正功名塚」北西側161㎡の発掘調査を実施し、柵列の跡とみられる柱穴等を確認した。
 【令和元年度】金沢城跡の各時代の場の使われ方を把握することを目的に、山城部分である南東尾根部の発掘調査を実施し、大規模な土塁と空堀及び竪穴建物跡等を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2次5か年計画において特定に至らなかった金沢柵の詳細を調査するため、計画期間を延長し、第3次5か年計画(令和2年度から令和6年度)を策定し調査を継続する。
--	--

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



金沢柵推定地発掘調査現場



後三年合戦関連遺跡整備指導委員会・後三年合戦史跡検討会の様子

【令和元年度】



古代後期と推定される竪穴建物跡



後三年合戦関連遺跡整備指導委員会・後三年合戦史跡検討会による現地指導の様子

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
羽黒町・上内町地区景観重点地区景観形成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成26年度～令和9年度			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容 羽黒町・上内町地区景観重点地区において、板塀や生垣の設置・修繕等への支援を行うことで、良好な景観を形成していく。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
横手城下に位置する羽黒町・上内町では、かつての武家町の面影が残り、歴史的建造物の他、板塀や生垣などの工物が織りなす自然と歴史が調和した景観は維持向上すべき歴史的風致の一つであり、それらを取り巻く周辺環境も景観上、保全すべきものである。 【平成30年度】板塀の設置1件、生垣補修1件の支援を実施した。 【令和元年度】板塀の補修1件、生垣補修1件の支援を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		歴史的風致を構成する要素となっている建造物を保存するため、継続的に修復に対する支援を行いながら、市民の歴史資源や景観の保全に対する意識の醸成を図る。	
状況を示す写真や資料等			
【平成30年度】			
			
実施前		実施後	
景観景観形成事業(生垣の補修)			
【令和元年度】			
			
実施前		実施後	
景観景観形成事業(生垣の補修)			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
増田地区街なみ環境整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成30年度 ※令和元年度は平成30年度繰越)		
計画に記載している内容	増田地区景観重点地区内で電線類地中化工事や生活環境施設、街路灯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【平成30年度】以下の工事を実施した。 ・電線類共同溝工事(約L=400m)、地中化工事に伴う連携設備補償1式・街路灯工事(15基) ・共同溝工損調査業務委託(18棟)・増田地区景観形成事業等補助(2棟) 【令和元年度(平成30年度繰越)】以下の工事を実施し当事業はすべて完了した。 ・電線類共同溝工事(L=348m)、地中化工事に伴う連携設備補償1式 ・舗装復旧工事2,420㎡、照明灯工事(6基)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光地であるため、騒音や工事による営業活動等への影響があり、地元住民からの十分な理解を得ながら作業を進めた。事業実施後の維持管理のあり方についても意思疎通を図っていく必要がある。なお、増田地区の景観形成については、横手市-11の増田地区景観重点地区景観形成事業で引き続き事業を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			
【平成30年度】			
			
景観形成事業補助(上町会館着工前)		景観形成事業補助(上町会館完成後)	
【令和元年度】(平成30年度繰越)			
			
共同溝工事の状況(下夕堰を横断)		共同溝工事の状況(工事完了)	

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目	現在の状況	
増田地区景観重点地区景観形成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 増田地区景観重点地区において、景観ガイドラインの基準に適合した、建物の外観の部分的な補修や木造門塀、垣等の設置、補修又は修景を行う際に支援をすることで、良好な景観を形成していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、以下の補助金を交付している。
 ・景観形成事業補助金 1件(板塀修景)
 ・景観まちづくり委員会補助金 2件(ゴミ集積所木製修景・貯水槽採水部修景)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 景観まちづくり委員会補助金で実施した、貯水槽採水部修景では消防分署と使用上問題ないか十分な協議を行い事業を実施した。

状況を示す写真や資料等



景観形成事業補助金(板塀設置)



景観まちづくり委員会補助金(ゴミ集積所修景)



景観まちづくり委員会補助金(貯水槽修景)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目	現在の状況	
横手公園整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和59年度～令和3年度

支援事業名 防災・安全社会資本整備交付金(都市公園・緑地等事業)(平成30年度)

計画に記載している内容 かまくら行事の会場となっている「武者溜」と「七曲坂」の整備を防災拠点としての機能と安全性に配慮しながら行う。武者溜は、老朽化した噴水を撤去し、横手盆地を眺める視点場と本丸・二の丸への玄関口としての整備を行う。また、老朽化した七曲階段を石積みで整備する。(武者溜については整備済)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度工事 七曲り坂整備工事 L=190m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 歴史的風致を維持向上し、市民がその価値を感じながら安心して公園を利用できるように、公園施設の適正な維持管理を今後も継続し、施設等の長寿命化を推進する。

状況を示す写真や資料等



武者溜の整備前



武者溜の整備後



七曲坂の整備前



七曲坂の整備後

※本計画に位置付けた事業については、平成30年度で完了。

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
「横手を学ぶ郷土学」事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 横手を学ぶ郷土学総合テキスト、まんがによる歴史テキストの作成や子ども伝統芸能発表大会の開催を行い、市内小中学生等の郷土愛醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度、令和元年度ともに「横手を学ぶ郷土学」事業として次の内容を行い、児童生徒や市民の郷土横手に対する誇りや愛着の心を持てるよう醸成に努めた。

- ・総合テキスト「よこてだいすき」「横手市の文化財」の配布。【平成30年度】新小学1年生641人、転入教職員59人、転入生14人。【令和元年度】新小学1年生578人、転入教職員64人、転入生32人。
- ・地元の歴史を題材にした「漫画後三年合戦物語」の配布。
【平成30年度】新5年生693人、転入生12人。【令和元年度】新5年生634人、転入生5人
- ・地元小学生による伝統芸能後継者育成チームを立上げ、「金沢掛唄」の支援を行った。また、大会前日に参加者らによるワークショップも開催した。
- ・「横手市創作子ども歌舞伎」の上演を行った。
【平成30年度】浅舞小:9月23日 約500人 中尊寺 10月28日 約150人。【令和元年度】大雄小:9月22日 約400人
- ・伝統芸能発表の場として「横手市子ども伝統芸能発表大会」を開催した。
【平成30年度】10月13日 約150人。【令和元年度】11月4日 約180人。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

伝統芸能後継者育成チーム支援について、金沢掛唄への指導は継続しつつ、他の伝統芸能の再興支援に取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等



新小学1年生に配布した総合テキスト「よこてだいすき」



伝統芸能後継者育成チームの「金沢掛唄」の指導



「横手市創作子ども歌舞伎」(浅舞小学校)



金澤八幡宮伝統掛唄大会



「横手市創作子ども歌舞伎」(大雄小学校)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
横手の送り盆まつり後継者育成支援事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度		
支援事業名	民俗文化財活性化補助金(県)(平成30年度)		
計画に記載している内容	送り盆行事で使用使用する屋形舟を製作できる人材の不足を解消するため、横手市観光協会が実施する講習会の開催を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統の「横手の送り盆まつり」の歴史やしきたりなどについての歴史・文化講習会と、まつりで使用する屋形舟の製作技術講習会の開催を支援し、後継者育成に寄与した。 ・歴史・文化講習会 平成30年7月26日 かまくら館 約20人 ・製作技術講習会 平成30年8月4日 富士見大橋下 屋形舟製作現場 約15人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		県補助金の活用は平成30年度のみだが、製作技術の伝承などの講習会については継続した取り組みが必要である。	

状況を示す写真や資料等



かまくら館で開催した送り盆の歴史やしきたりなどを学ぶ「歴史・文化講習会」



富士見大橋下で開催した屋形舟の「製作技術講習会」

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
文化財探訪支援事業(後三年合戦関連史跡)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	後三年合戦に関連する史跡探訪の開催を支援し、歴史認識を深めてもらう。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【平成30年度】市民ガイドの会「ふきのとうの会」が主催する後三年合戦金沢資料館周辺の金沢公園など後三年合戦史跡を歩いて地域の歴史を学ぶことができる児童・生徒向けのイベント「バトルオブ後三年！～見よう・聞こう・探ろう～」の開催を支援した。 開催状況：8月5日 参加者14人、8月19日 参加者9人、8月24日 参加者33人 【令和元年度】金沢地区住民らで組織する「歴史文化の里づくりをすすめる会」や市民ガイドの会「ふきのとうの会」が主催・共催する後三年合戦金沢資料館や金沢公園等を探訪する2つのイベントの支援した。 開催状況：(子供向け)7月27日 参加者23人 (大人向け)8月24日 参加者19人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き後三年合戦関連史跡の普及啓発に向けたイベントの企画、運営、周知等、活動の継続を支援する。		
状況を示す写真や資料等			

【平成30年度】



「バトルオブ後三年！」

【令和元年度】



「ザ・後三年合戦ヒストリー！」(子供向け)



「金沢の史跡を歩いてみよう」(大人向け)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
ふるさと再発見地域探訪支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 増田地域西成瀬地区周辺に残る近代化に資した史跡や歴史的建造物等を巡る歴史探訪の開催を支援し、歴史の認識向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

西成瀬地区交流センター主催「西成瀬文化財・史跡めぐり」の開催を支援した。
 【平成30年度】
 7月21日開催。参加者18名。西成瀬地区にある近代化に資した史跡等(吉乃鉱山、焼山窯跡、西成瀬郷土資料室、機岳和尚木彫地藏尊(熊淵、荻袋、安養寺、小栗山)及び同和尚墓地)を見学し、同地区の歴史についての意見交換を行った。
 【令和元年度】
 9月8日に「管内史跡めぐり(吉乃鉱山跡見学)」、10月25日に「西成瀬歴史・文化を学ぶ会」の2回開催。9月8日は、地元吉野集落の親子連れを中心に40人の参加者があった。また、10月25日も23名の地域住民が参加し、積極的な質問や意見があり、活発な会となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

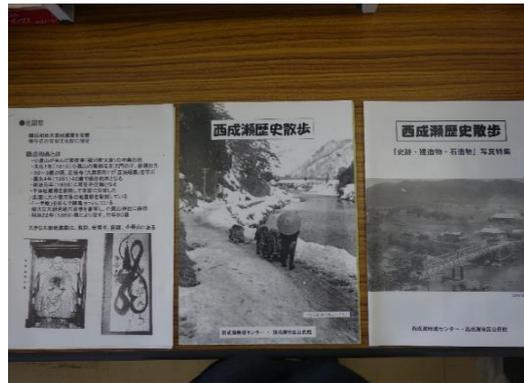
参加者にとって、自分の住む地域に改めて誇りや愛着を持つきっかけとなっているため今後も継続して支援していく。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



西成瀬文化財・史跡めぐりの様子
(西成瀬郷土資料室)



西成瀬文化財・史跡めぐり 配布資料

【令和元年度】



「管内史跡めぐり(吉乃鉱山跡見学)」



西成瀬歴史・文化を学ぶ会

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
りんご農家後継者・担い手育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	秋田県・秋田ふるさと農業協同組合単独事業		
計画に記載している内容	平鹿りんごの産地である当市の果樹農家の後継者を育てるため、秋田県と秋田ふるさと農業協同組合が共催で基礎的な技術研修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【平成30年度】「りんごの学校」講座は、りんご生育の講師による座学及び実技、優良園地の視察研修等を年間で10回実施し、17名が受講を修了した。 【令和元年度】「りんごの学校」講座もりんご生育の講師による座学及び実技、優良園地の視察研修等を年間で9回実施し(10回目は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)、22名が受講を修了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

第5期(2018年度)「りんごの学校」講座

回	月日	時間	講義内容
1回	4月18日	13:30~	開校式
		14:00~	施肥の基礎(講義)
		15:00~	接ぎ木の基礎(苗木作りと高接ぎ方法の実技)
2回	5月23日	13:30~	摘果の基礎(講義と実技)
		15:30~	徒長枝管理方法(実技)
3回	6月13日	13:30~	病害防除の基礎(病害の判別を園場で実習)
		14:30~	害虫防除の基礎(害虫や天敵などの判別を園場で実習)
		15:30~	仕上げ摘果(講義と実技)
4回	7月18日	13:30~	樹相診断方法の基礎(講義と実技)
		15:30~	今日の病害虫(発生状況に応じて実物観察)
5回	9月19日	13:30~	中晩生種の着色管理(講義と実技)
		14:30~	優良園地に学ぶ(横手市内優良園観察)
6回	10月31日	13:30~	「ふじ」の成熟と収穫時期判定方法(講義と実技)
7回	12月12日	13:30~	花芽分化調査方法
		15:30~	選果場施設見学(JA秋田ふるさと増田選果場)
8回	1月16日	13:30~	土壌診断と土壌分析の基礎(講義と実技)
		15:00~	病害虫防除計画の立て方(講義と実習)
9回	2月27日	13:30~	剪定の基礎(講義と実技)
		13:30~	剪定の基礎(講義と実技)
10回	3月11日	16:00~	修了式

第6期(2019年度)「りんごの学校」講座

回	月日	時間	講義内容
1回	4月17日	13:30~	開校式
		14:00~	施肥の基礎(講義)
		15:00~	接ぎ木の基礎(苗木作りと高接ぎ方法の実技)
2回	5月22日	13:30~	摘果の基礎(講義と実技)、人工授粉の効果(講義)
		15:30~	徒長枝管理方法(実技)
3回	6月12日	13:30~	病害防除の基礎(病害の判別を園場で実習)
		14:30~	害虫防除の基礎(害虫や天敵などの判別を園場で実習)
		15:30~	仕上げ摘果(講義と実技)
4回	7月17日	13:30~	樹相診断方法の基礎(講義と実技)
		15:30~	今日の病害虫(発生状況に応じて実物観察)
5回	9月18日	13:30~	中晩生種の着色管理(講義と実技)
		14:30~	優良園地に学ぶ(横手市内優良園観察)
6回	11月5日	13:30~	「ふじ」の成熟と収穫時期判定方法(講義と実技)
		15:30~	晩生種の荒選果作業(JA秋田ふるさと増田選果場で講義)
7回	12月11日	13:30~	花芽分化調査方法
		15:30~	選果場施設見学(JA秋田ふるさと増田選果場)
8回	1月15日	13:30~	土壌診断と土壌分析の基礎(講義と実技)
		15:00~	病害虫防除計画の立て方(講義と実習)
9回	2月26日	13:30~	剪定の基礎(講義と実技)
		13:30~	剪定の基礎(講義と実技)
10回	3月18日	13:30~	剪定の基礎(講義と実技)
		16:00~	修了式

平成30年度・令和元年度りんごの学校 講座スケジュール



平成30年度「りんごの学校」第6回 講義の様子



令和元年度「りんごの学校」第5回 実技の様子

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度・令和元年度

項目	現在の状況
りんごの歴史探訪支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和元年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	秋田県におけるりんご栽培発祥の地である増田・平鹿地域のりんごに関する歴史探訪を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

亀田地区交流センターによる「りんごの歴史探訪」を開催を支援した。秋田県果樹試験場やフルーツセンターの視察、地域の功労者である「藤原利三郎」の頌徳碑を探訪した。先人たちが果たしてきた礎のもとに、今のりんご産業がなりたっていることを改めて認識する機会を提供した。
 開催日：令和元年5月11日 参加人数：17名
 醍醐地区交流センターによる「平鹿りんご親子授業」を開催を支援した。地元小学校の醍醐小学校5年生とその親を対象に地元産「平鹿りんご」栽培の基礎をつくった人物の歴史を学び、また冬のりんごの販売方法やりんごの皮むき体験と試食を行い、収穫した地元産「平鹿りんご」を味わった。
 開催日：令和元年12月13日 参加人数 56人 会場：醍醐小学校

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	亀田、醍醐両地区の結びつきや事業の連携を進めていきたい。
--	------------------------------

状況を示す写真や資料等



亀田地区「りんごの歴史探訪」



亀田地区「りんごの歴史探訪」
(藤原利三郎の頌徳碑の探訪)



醍醐地区「平鹿りんご親子授業」
(平鹿りんごの歴史についての様子)



醍醐地区「平鹿りんご親子授業」
(りんごの皮むき体験の様子)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
郷土文化保存伝承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 各地域に伝承される有形・無形の文化財の現状確認と、市民を対象にした探訪会や講演・学習会の開催、伝承の記録保存事業の実施に対し支援を行い、郷土の貴重な文化の保護と継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

横手市文化財保護協会連絡協議会が中心の郷土文化保存活動の実施を支援した。
 【平成30年度】市内8地域の①文化財パトロール(487か所)②文化財探訪(7回)・研修会(7回)③文化資産維持(草刈り等清掃活動)④年末年始行事伝承会の開催などを実施
 【令和元年度】市内8地域の①文化財パトロール(508か所)②文化財探訪(7回)・研修会(4回)③文化資産維持(草刈り等清掃活動)④年末年始行事伝承会の開催などを実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

郷土を知る探訪事業等への児童生徒など若年層参加の工夫が必要となっている。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



標柱・説明板パトロール



文化財研修会

【令和元年度】



文化財探訪(男鹿市)



行事伝承会

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
後三年合戦周知事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和元年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(平成30年度・令和元年度)

計画に記載している内容 後三年合戦関連遺跡群や、地域で伝えられてきた後三年合戦にまつわる伝承地などを、広く市民等に周知し、まちづくり及び郷土理解の促進、観光資源として活用するために、シンポジウム等を開催するほか、パンフレット等を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成21年度の大鳥井山遺跡の国史跡指定を契機に毎年度、公開講座やシンポジウムを開催している。
 【平成30年度】平成31年2月23日、24日の2日間にわたり開催し、約350人の参加があった。
 【令和元年度】後三年合戦沼柵公開講座を令和元年9月29日に開催し、約200人の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

考古学、史学の専門家や発掘調査に携わる方々の講演、報告により、最新の情報を市民等に提供し、郷土理解の促進を図る。後三年合戦関連遺跡調査の調査延長に伴い、本周知事業も事業期間を延長し継続していきたい。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



後三年合戦シンポジウムの周知チラシ



パネルディスカッションの様子

【令和元年度】



後三年合戦沼柵公開講座の周知チラシ



後三年合戦沼柵公開講座の様子

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度・令和元年度

項目	現在の状況
りんごまつり開催支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和41年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 秋田県のりんご栽培発祥の地である平鹿地域及び増田地域において、りんごの収穫期に毎年行っているイベントを支援し、市の内外に平鹿りんごのPRを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(一社)増田町観光協会による「真人公園りんごまつり」、平鹿りんご味覚まつり実行委員会による「平鹿りんご味覚まつり」の開催を支援した。各まつり内ではりんごの直売の他、りんごに関するクイズや、樹園地でのもぎ取り体験等のイベントが行われ、平鹿りんごのPRに繋がった。

【平成30年度】

- ・真人公園りんごまつり:平成30年10月21日(来場者数 約600人)会場:真人公園
- ・平鹿りんご味覚まつり:平成30年11月3日(来場者数 約3,000人)会場:ときめき交流センター「ゆっがる」

【令和元年度】

- ・真人公園りんごまつり:令和元年10月20日(来場者数 約500人)会場:真人公園
- ・平鹿りんご味覚まつり:令和元年11月3日(来場者数 約2,000人)会場:ときめき交流センター「ゆっがる」

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

現在、平鹿りんご味覚まつりの会場としている市の施設が民間譲渡の計画となっている。譲渡された場合、イベントの開催会場として使用するための交渉または、別会場の確保を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



真人公園りんごまつり(りんご直売の様子)



平鹿りんご味覚まつり(もぎ取り園の様子)

【令和元年度】



真人公園りんごまつり(ミスりんごコンテストの様子)



平鹿りんご味覚まつりの様子

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目	現在の状況	
サインガイドライン策定事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内全域かつ全組織が共通で利活用可能な案内板等の規格や設置基準を定めたサインガイドラインを策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内検討会4回開催 (7月23日、12月16日、1月27日、3月18日)
 既設サイン設置現況調査、検討会及び各課ヒアリングを実施し、設置基準等を内容としたサインガイドラインを策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

既設設置看板が多く、現況調査に期間を要してしまった。また、所管課が曖昧になっている看板もある状態の為、設置基準を定めると共に、今後の運用・管理方法についても検討が必要となっている。

状況を示す写真や資料等

◎ベースカラー・アクセントカラーの使い方
 ベースカラーについては、横手市の公共サインと特微付けるため、各種サインの板面に全面的に使用する。
 アクセントカラーについては、ベースカラーと一体的に使用することにより、さらに横手らしさを表すものとする。
 なお、上位計画である横手市景観計画において設定される景観重点地区内では景観基準に基づき落ち着いた色調の配色とする。
 なお、これら以外の配色の採用がやむを得ない場合においても、色覚異常の方の判読を阻害しないよう、明度差を考慮した配色とするものとする。



デザインガイドライン

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目	現在の状況	
歴史的風致情報発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内の回遊を促すようなガイドマップの作成や、案内・誘導をサポートするため、主要スポットに公衆無線LAN(Wi-Fi)環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ガイドマップの作成については、歴史的風致の情報のみでは専門性が強くなってしまふことから、既存の観光パンフレット(横手じゃらん)に歴史的風致の情報を盛り込むことで、より多くの方々に歴史的風致を含めた観光の回遊性を高めていただくものとした。発信力のある「じゃらん」ブランドにより、歴史的風致の情報も強力に発信できる。

現行紙面デザイン、内容を関係課で検討し、特に歴史的風致の情報については検討を重ねた。より回遊性を高め、滞在時間の延長が図られるよう、観光客の視点に立って作業を行い、「横手じゃらん」を更新した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

関係課及び関係機関と情報共有を図り、修正、追加の必要に応じ、適宜対応していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
市内歴史的風致映像撮影事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内の歴史的風致を紹介する映像を作成し、市の南の玄関口でもあり、多くの利用客が訪れる南部重点区域内の「道の駅十文字」をはじめ、市内の主要な公共施設において上映する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の9つの歴史的風致を構成する素材の撮影・収集を行った。撮影は、歴史的風致ごとに紹介する作品となるよう行事・活動、町並み・風景、歴史的素材(建造物等)の要素を網羅するよう行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和2年度に編集作業を行い、映像を完成させ、どの場所でもどのように上映・活用するかについて調整する。

状況を示す写真や資料等

【撮影項目】

- ①横手城下の伝統行事に見る歴史的風致
…町並み、歴史的素材、横手の送り盆行事、横手のかまくら、旭岡山神社の梵天
- ②後三年合戦の顕彰に見る歴史的風致
…町並み、後三年合戦関連伝承地
- ③増田の町並みと祭礼に見る歴史的風致
…町並み、月山神社神輿渡御行事
- ④手倉街道周辺の物資集散と顕彰に見る歴史的風致
…町並み、地域の顕彰活動、鉱山や旧真人発電所跡などの素材
- ⑤斜面地の果樹栽培に見る歴史的風致
…風景(景観)、りんごの作業、歴史的素材
- ⑥浅舞八幡神社の祭礼と山車巡行に見る歴史的風致
…町並み、浅舞八幡神社神輿渡御行事及び山車巡行行事
- ⑦沼館八幡神社の道中獅子に見る歴史的風致
…町並み、沼館八幡神社神輿渡御と沼館八幡の獅子舞(道中獅子)
- ⑧波宇志別神社と霜月神楽に見る歴史的風致
…保呂羽山の霜月神楽、歴史的素材
- ⑨雄物川流域の鹿島行事に見る歴史的風致
…鹿島送り行事、町並み・風景、歴史的素材



横手公園から眺める横手城下



鹿島送り(大雄地域)



霜月神楽

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
都市計画道路八幡根岸線事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(地方街路交付金事業)(平成30年度・令和元年度)

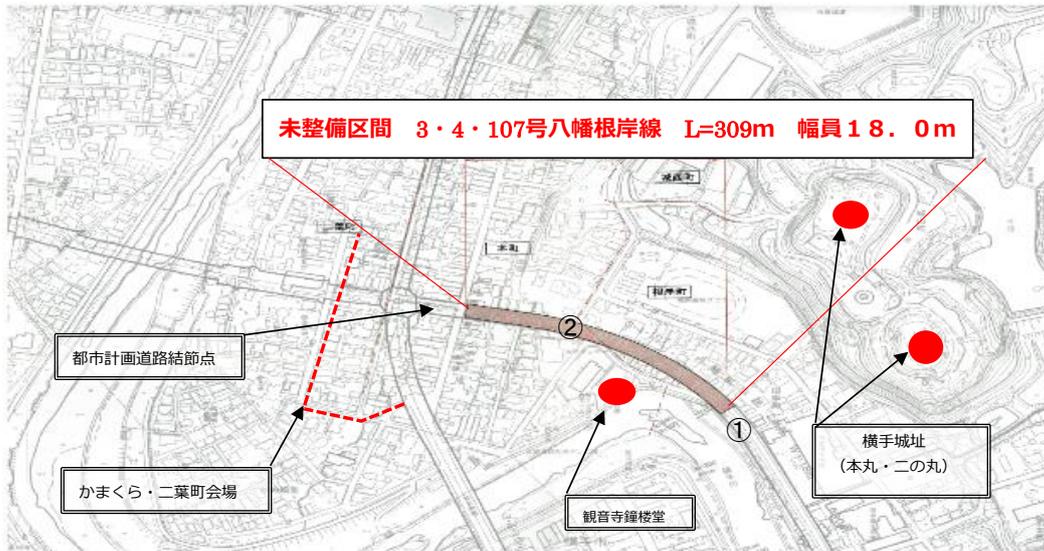
計画に記載している内容	本市中心市街地を東西に連絡し、横手城下の伝統行事でも利用されお祭り会場を通る都市計画道路の八幡根岸線を拡幅し、歩道を整備する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】八幡根岸線拡幅工事の今後のスケジュールに関して住民説明会等を行った。また、区間内の用地測量が年度内で完了した。
 【令和元年度】建物等調査を実施し、区間内の建物等調査(22件)が年度内に完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	中心市街地での円滑な交通と冬季でも安心して通行できる空間を確保するため、八幡根岸線の整備を推進していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



八幡根岸線の現状(①地点から都市計画道路結節点方面)



八幡根岸線の現状(②地点から都市計画道路結節点方面)

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成30年度・令和元年度

項目	現在の状況
ボランティアガイド養成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域活性化や観光振興に繋げるため、既存の日本語ガイドに加えて、外国語に対応したボランティアガイドを養成するほか、地域や学校等との連携も視野に、幅広い年齢層のガイドを育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・既存ガイドの養成については、「かまぐらの里 横手まちの案内人 ふきのどうの会」「増田町観光ガイドの会」を対象にスキルアップセミナーを3月4日に開催し、講師に八戸せんべい汁研究所所長から講話をいただき先進事例を学んだ後、意見交換を行い、両団体のこれまでの活動を振り返り、今後の活動に向けた協議を行った。

・外国語に対応したボランティアガイドの養成については、下記のとおり実施した。
 ①明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授を招いて、インバウンドセミナーを実施した。
 12月16日 かまぐら館 [参加者48名]

- ②外国人観光客おもてなしセミナーを実施した。
 【中国語】第1回 1月29日 サンサン横手 / 第2回 2月6日 Y2ぷらざ [参加者12名]
 【英語】第1回 1月30日 Y2ぷらざ / 第2回 2月7日 かまぐら館 [参加者12名]
- ③中学生対象の観光客おもてなし用の英語テキストを配布して、英語での案内等を指導した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

既存のガイド団体及び通訳ボランティアの方々と連携しながら、さらなる拡充を図り、外国語対応については、在住の海外出身者やALTとも連携を図っていく。

状況を示す写真や資料等



インバウンドセミナーの様子



外国人観光客おもてなしセミナー



既存ガイドスキルアップセミナー

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成30年度・令和元年度
文化財の調査、指定	現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本市には、令和元年7月時点で、国指定(選定)10件、県指定40件、市指定163件の指定文化財が存在するほか、52件の建造物が登録有形文化財として登録されている。指定文化財については、文化財保護法や秋田県文化財保護条例、横手市文化財保護条例、横手市伝統的建造物群保存地区保存条例の他、関係法令に基づき、所有者等が適切な保存管理を実施し、行政はその保存管理に関する助言・指導を行うと同時に、保存のための修理や整備に係る経費についても必要に応じて助成を行い保存継承に努めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】3件の市指定文化財の指定を行った。また、国の登録有形文化財(建造物)も3件登録された。
 【令和元年度】1件の市指定文化財の指定を行った。
 建造物の調査については【横手市-7】記載のとおり。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



平成30年4月24日市指定 沼館八幡神社 神輿渡御行事 1件 雄物川町沼館(左)
 平成30年4月24日市指定 浅舞八幡神社 神輿渡御及び山車巡行行事 1件
 平鹿町浅舞(中央)
 平成30年11月20日市指定 沼館鏡図 1幅 雄物川町沼館(右)

【令和元年度】



平成31年4月26日市指定
 「長安寺方便法身尊像」1幅
 (歴史資料)【横手地域】

評価軸④-2-(1)

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成30年度・令和元年度
文化財の保存と活用(保存)	現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 名勝及び天然記念物については、定期的な巡回や所有者等の協力により適切な保存がなされており、引き続き保存に向けた支援を行うものとする。また、これらは周辺環境と一体で保護することが望ましく、保存継承のみにとどまらず、関連する伝統文化や生活様式等とともに一体的な継承を図り、より効果的な保存・活用に努めるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】平鹿地域局発注工事(木製デッキ撤去)に伴って、トミヨ魚類の生息調査を行った。採捕及び潜水による調査の結果、トミヨ属魚類については、トミヨ属淡水型及びトミヨ属雄物型の両種が現在も生息していることが確認された。トミヨ属魚類の繁殖阻害や食害の恐れのある大型魚(コイ等)やオオクチバスは確認されなかった。また、県権限移譲事務である県指定天然記念物の琵琶沼・天龍沼・荒小屋沼の水位、水温などの定期計測については、5～11月に行い、沼の状況把握に努めた。

【令和元年度】経過調査を行った。平鹿地域琵琶沼において、採捕等による調査の結果、トミヨ属魚類はトミヨ属淡水型及びトミヨ属雄物型の両種が生息しており、木製デッキ撤去による影響はないものと思われる。ただし、窒素過多などが原因とみられる眼球が飛び出た個体が多く見られ、ガス病対策が必要なことが判明した。このほか、県権限移譲事務の三沼(荒小屋沼・天龍沼・琵琶沼)の水位・水温などの測定を行った。

また、増田地域にある天然記念物二本杉について樹木医の診断のもと、樹幹部亀裂防止のための支柱再設置(修繕)と帯締め直しの処置を施し、保護に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	琵琶沼について、ガス病対策のため曝気設備などの対応が急務となっている。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



6月8日～9月25日 琵琶沼トミヨ属魚類生息実態調査を実施
 主な調査項目は、①営巣状況調査②トミヨ属生息状況調査(定置網による採捕調査)③流量等調査④水質検査

個体調査の様子

【令和元年度】



6月～8月 市指定天然記念物二本杉(増田地域)の既存支柱修繕及び帯締め直しを実施

写真左:支柱修繕状況 写真右:帯締め直し状況

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の修理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

有形文化財の建造物は、経年劣化や風雨等、外的要因によるき損や滅失を招く恐れがあり、日頃の予防対策を含め、所有者等による維持管理と日常的な点検を行う事で損傷の早期発見に努め、適切な指導と併せて、連携を密にした現状把握を行っていく必要がある。

指定等文化財の修理及び整備については、文化財の価値を維持することを目的とする。所有者や管理者の財政的な負担軽減を図る必要があることから、適切な指導、助言を行いながら補助制度の活用等、最善の支援策について協議していく必要がある。

未指定の文化財に関しては、現状調査のもと、重要性と緊急性を踏まえ、所有者と協議を重ねながら適切な保存が図られるようにする必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】7件の補助を行った。内訳は、重要文化財及び県指定建造物維持管理補助(雪害防止等)3件、市指定文化財修理補助(建造物修理)3件、民俗芸能団体用具修理補助1件である。

伝統的建造物群の修理事業として3件4棟、修景事業として1件の補助を行った。【横手市-3 記載のとおり】

【令和元年度】6件の補助を行った。内訳は、重要文化財及び県指定建造物維持管理補助(雪害防止等)3件、市指定文化財修理補助(防汚処理等)2件、民俗芸能団体用具修理補助1件である。

伝統的建造物群の修理事業として3件3棟の補助を行った。【横手市-3 記載のとおり】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】

- ・市指定文化財修理補助
カトリック横手教会 聖堂の鐘楼外壁亀裂修理ほか



実施前



実施後

【令和元年度】

- ・市指定文化財修理補助
八幡神社(沼館)古頭形兜の防汚処理等



実施前



実施後

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、市や文化財の所有者・管理者は常に高い防災意識を持って文化財の保存管理に努めていく必要があり、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減に向けた取組みを行うものとする。また、文化財防火デーには所有者や地域住民、消防本部等と連携し消火訓練を行っており、防災に係る周知と防災教育の取組みを通じて日常の防災意識の高揚に努めていくものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

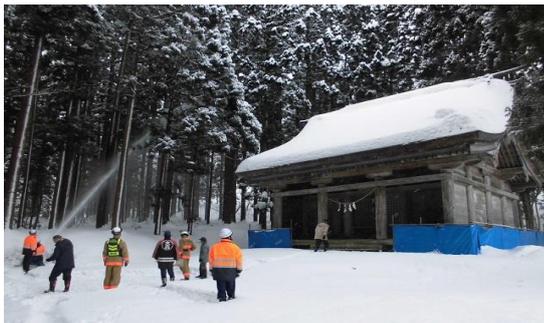
【平成30年度】文化財防火デーに合わせ、重要文化財波宇志別神社神楽殿で神社関係者、消防関係者、文化財保護担当者が連携し、火災通報及び放水銃による消火訓練を実施した。また、重要文化財佐藤家住宅・旧松浦家住宅及び県指定文化財旧日新館については、文化財防火デーのポスター掲示の依頼とともに防火についての啓蒙を行った。
 【令和元年度】上記に加え、横手市伝統的建造物群保存地区において「増田まちなみ保存会」主催で、設置された易操作性消火栓の操作講習会2回を実施した他、消防本部において重伝建地区警防計画に基づく駆け付け訓練を1回実施した。
 (※横手市増田伝統的建造物群保存地区防災施設等整備事業については 横手市-4 記載の通り)
 (※重要文化財佐藤家住宅の防災設備整備については、横手市-5 記載のとおり)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】

文化財防火デー 重要文化財「波宇志別神社神楽殿」防火訓練
 ○実施日 平成31年1月26日午前9:30~10:00
 ○場 所 重要文化財 波宇志別神社神楽殿敷地内【大森町】



神楽殿への放水訓練



訓練終了後の講評

【令和元年度】

・横手市増田伝統的建造物群保存地区での防災の取組



易操作性消火栓操作講習会



重伝建地区警防計画に基づく駆け付け訓練

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成30年度・令和元年度
文化財の普及・啓発の取組、民間団体への支援・協力	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本市教育委員会では伝統芸能団体の活動実態を把握するためのアンケート調査を平成28年度行った。各団体が抱える課題の多くは、指導者や後継者不足による活動の停滞、用具の新調経費に関することだった。こうした結果も踏まえ、文化財の保存・活用にに向けた普及啓発を継続しながら、各団体と連携を取りながら詳細調査や記録作成に関する取り組みを進めるほか、担い手の育成に向けた施策や用具新調への支援等を推進し、後世への継承を図るものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度、令和元年度ともに、増田地区交流センター運営協議会が取り組んでいる「横手市増田民俗芸能フェスティバル」の開催について支援を行った。この催しは、後継者育成事業の成果発表の場として位置づけられ、平成30年度は増田地域の民俗芸能団体4つをはじめ計7団体が出演、出演者含め約330人が、令和元年度は、増田地域の民俗芸能団体4つをはじめ計8団体が出演、出演者含め約230人が民俗芸能の後継者育成について考える機会となった。
 また、継続して「横手を学ぶ郷土学事業」【横手市-13記載のとおり】を実施し横手の歴史文化の普及・啓発に努めた。
 さらに、歴史探訪を支援する事業【横手市-15、16、18記載のとおり】や歴史的風致情報発信事業【横手市-23記載のとおり】などを通じ、歴史的風致や文化財の普及を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

担い手育成の取組は継続して実施していく必要がある他、記録保存や各種団体への取り組みを支援する施策に関する相談体制を整えていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



戸波郷土芸能保存会(増田町)



一日市郷土芸術研究会(八郎潟町)



仁井田番楽保存会(十文字町)

名称:第15回横手市増田民俗芸能フェスティバル

期日:平成30年11月25日

場所:横手市増田体育館

主催:増田地区交流センター運営協議会 共催:横手市・横手市教育委員会

出演団体:八木番楽保存会(増田町)、福嶋サイサイ囃子保存会(増田町)、増田盆おどり保存会(増田町)、戸波郷土芸能保存会(増田町)、仁井田番楽保存会(十文字町)、鳥海山小滝舞楽保存会(にかほ市象潟町)、一日市郷土芸術研究会(南秋田郡八郎潟町) 以上7団体

【令和元年度】



横手を学ぶ郷土学事業
「横手市子ども伝統芸能発表大会」



横手を学ぶ郷土学事業
「発酵伝承ワークショップ2019」7種豆味噌造り

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成30年度・令和元年度
埋蔵文化財	現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本市には、旧石器時代から近世に至るまで約600の遺跡が確認されており、これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。
 開発に関わる関係者との十分な協議の結果、やむを得ず現地保存できない場合でも、適切な発掘調査と調査成果の公開を行うものとする。また、「後三年合戦関連遺跡」については、当面は北部重点区域内において、法に基づく学術調査を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成30年度】県営ほ場整備事業に伴う発掘調査として、堀ノ内遺跡及び館尻遺跡の2か所を行い、館尻遺跡では9月に市民向け現地公開も実施した。学術調査として、後三年合戦関連遺跡金沢城跡の発掘調査も行った。また、平成29年度に発掘調査を行った「一本杉遺跡」の調査成果の周知のため、雄物川郷土資料館特別展で「発掘された秋田の古墳時代」を開催した。
 【令和元年度】県営ほ場整備事業に伴う発掘調査として柴崎遺跡の調査を行い、7月27日に市民向け現地説明会を実施した。学術調査としては、後三年合戦関連遺跡金沢城跡の発掘調査を行い、11月9日に市民向け現地説明会を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】

館尻遺跡発掘調査

- 期間:平成30年5月7日～9月28日
- 場所:横手市平鹿町上吉田字館尻地内
- 調査面積:6,600 m²
- 概要:平安時代の土器焼成遺構や竪穴建物跡等、中世の区画溝・道路跡、建物跡、井戸跡、墓域等2,400遺構を検出
- その他:現地公開を9月26日開催。50名参加



館尻遺跡 現地公開

【令和元年度】

後三年合戦関連遺跡・金沢城跡発掘調査

- 期間:令和元年6月17日～12月13日
- 場所:横手市金沢字金洗沢地内
- 対象面積:約87.2 m²
- 概要:南東尾根部の調査を実施
 竪穴建物跡7棟(調査は2棟)、土塁跡5条、堀跡6条、土橋跡3条、等の遺構を検出
- その他:現地説明会を11月9日開催
 約50名参加



後三年合戦関連遺跡金沢城跡 現地説明会

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成30年度・令和元年度
報道等タイトル		年月日	掲載紙等
1	歴史生かし横手活性化 市の風致計画認定 国が景観整備支援へ	平成30年7月10日	秋田魁新報社
2	横手のまちづくり 国が認定 歴史的風致維持向上計画 観光客増 期待	平成30年7月10日	朝日新聞
3	歴史まちづくり 国が計画を認定 秋田・横手市	平成30年7月20日	産経新聞
4	横手今野商店と十文字教会 登録有形文化財に	平成30年7月21日	秋田魁新報社
5	横手の「風致計画」周遊型の観光にも力を	平成30年7月28日	秋田魁新報社
6	後三年合戦の舞台金沢の歴史知ろう 5、19日にイベント	平成30年8月2日	秋田魁新報社
7	横手市歴史まちづくり課 文化見直し心豊かに	平成30年8月6日	秋田魁新報社
8	子供屋形舟練り歩く 横手「ねむり流し」にぎやか	平成30年8月8日	秋田魁新報社
9	後三年合戦歴史身近に 横手家族連れ、伝説聞き散策	平成30年8月9日	秋田魁新報社
10	お盆の伝統行事 雨の中でも熱気 屋形舟、ぶつけ合い豪快	平成30年8月17日	秋田魁新報社
11	「資源活用、一層磨きを」県南3市 松山創生相が視察	平成30年9月4日	秋田魁新報社
12	新規就農5年連続200人越 昨年度221人 農業法人雇用が半数	平成30年9月13日	読売新聞
13	増田の観光振興提案 日大生、合宿し具体策練る	平成30年9月16日	秋田魁新報社
14	伝統の掛唄、金農も題材 即興歌詞に会場沸く	平成30年9月16日	秋田魁新報社
15	増田の内蔵・壁や扉に多用 黒漆喰磨き職人になって	平成30年9月26日	秋田魁新報社
16	歴史生かしたまちづくりへ 古い建物の活用推進 横手市でフォーラム	平成30年10月15日	秋田魁新報社
17	唄コンクール、皮むき競争 増田特産リンゴPR 真人公園にぎわう	平成30年10月25日	秋田魁新報社
18	リンゴもぎ取り家族連れ楽しむ 横手市平鹿町	平成30年11月4日	秋田魁新報社
19	霜月神楽 夜通し五穀豊穡願う	平成30年11月9日	朝日新聞
20	雪国の夜 明かりにほっこり 横手「かまくら」開幕	平成31年2月16日	朝日新聞
21	梵天奉納 横手の旭岡山神社 必死に支え「ジョヤサ、ジョヤサ」	平成31年2月18日	毎日新聞
22	堀と土塁で権威示す 大鳥井山遺跡(館の実像)	平成31年2月22日	秋田魁新報社
23	地域の宝2000件発掘 保護、継承へ策定進める 横手市歴史文化基本構想	平成31年2月24日	秋田魁新報社
24	清原氏の歩み探る 城柵研究、最新成果も 横手市後三年合戦シンポ	平成31年2月26日	秋田魁新報社
25	歴史文化基本構想 地域の「宝」発掘 取り組みを報告 横手、シンポに250人	平成31年3月9日	秋田魁新報社
26	地方点描 歴史まちづくり	平成31年3月14日	秋田魁新報社
27	シリーズ 時代を語る 千田宏二 ①～⑳	平成31年4月9日～ 令和元年5月11日	秋田魁新報社
28	「鹿島様」すっきり 地域住民が衣替え 横手、岩手との県境	令和元年5月8日	秋田魁新報社
29	重伝建活用策探る 250人、増田の町並み視察 全国保存地区協議会研修会	令和元年5月24日	秋田魁新報社
30	金沢の魅力 マップに 県立大生 横手住民と史跡巡り作成	令和元年6月9日	秋田魁新報社
31	横手市大雄「厄神立て」巨大わら人形背負い歩く 重さ80キロ 住民、無病息災を祈願	令和元年6月11日	秋田魁新報社
32	屋形舟担ぎ手を公募 横手「送り盆まつり」初の市内外から	令和元年7月19日	読売新聞
33	金沢公園を散策 後三年合戦学ぶ 横手、小中生ら11人参加	令和元年8月6日	秋田魁新報社
34	雨に負けずぶつけ合い 横手の送り盆まつり	令和元年8月17日	秋田魁新報社
35	発祥伝説残る沼館八幡神社「納豆販売に住民ら列」	令和元年9月14日	秋田魁新報社
36	浅舞八幡神社祭典「山車きらびやか 町内を練り歩く」	令和元年9月19日	秋田魁新報社
37	伝統の舞あでやかに(横手子ども芸能発表大会)	令和元年11月5日	秋田魁新報社
38	霜月神楽 夜徹し厳かに	令和元年11月9日	朝日新聞
39	金沢柵 特定への一歩	令和元年12月26日	秋田魁新報社
40	国重要文化財火災から守れ(波字志別神社神楽殿)	令和2年1月26日	秋田魁新報社
41	外国人客への対応学ぶ 横手支援高等部生徒 かまくら前に講習会	令和2年2月2日	秋田魁新報社
42	かまくらに灯ともる 暖冬の横手「熟練技」で祭り開幕	令和2年2月16日	毎日新聞
43	男衆 激しくもみ合い 横手市旭岡山神社梵天奉納「ジョヤサ」	令和2年2月18日	秋田魁新報社

その他 横手市歴史的風致維持向上計画に関連した報道 113件

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

横手市歴史的風致維持向上計画が認定されたことにより、伝統行事等に関する報道の他、歴史まちづくりや歴史文化についての報道が増え、それをきっかけに計画や歴史的風致について市民が触れる機会が増加した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	計画や事業・取組に関する認識向上のため、情報発信や報道等に取り上げてもらえる機会をより増やしていく必要がある。

【次項に続く】

秋田魁新報 平成30年7月10日掲載

歴史生かし横手活性化

市の風致計画認定



横手市は、歴史を生かしたまちづくりの土台となる「市歴史文化基本構想」の策定を進めている。文化財指定の有無を問わず地域の宝を掘り起し、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

文化財を多く保護するも「指定を待ひ掛けている」保護、継承が急まねばならない。横手市では、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

横手市は、歴史を生かしたまちづくりの土台となる「市歴史文化基本構想」の策定を進めている。文化財指定の有無を問わず地域の宝を掘り起し、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

文化財を多く保護するも「指定を待ひ掛けている」保護、継承が急まねばならない。横手市では、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

【秋田魁新報 平成30年7月10日掲載】

秋田魁新報 平成31年2月24日掲載

地域の宝 2000件発掘

保護、継承へ策定進める

横手市「歴史文化基本構想」



横手市は、歴史を生かしたまちづくりの土台となる「市歴史文化基本構想」の策定を進めている。文化財指定の有無を問わず地域の宝を掘り起し、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

文化財を多く保護するも「指定を待ひ掛けている」保護、継承が急まねばならない。横手市では、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

横手市は、歴史を生かしたまちづくりの土台となる「市歴史文化基本構想」の策定を進めている。文化財指定の有無を問わず地域の宝を掘り起し、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

文化財を多く保護するも「指定を待ひ掛けている」保護、継承が急まねばならない。横手市では、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

横手市は、歴史を生かしたまちづくりの土台となる「市歴史文化基本構想」の策定を進めている。文化財指定の有無を問わず地域の宝を掘り起し、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

文化財を多く保護するも「指定を待ひ掛けている」保護、継承が急まねばならない。横手市では、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

横手市は、歴史を生かしたまちづくりの土台となる「市歴史文化基本構想」の策定を進めている。文化財指定の有無を問わず地域の宝を掘り起し、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

文化財を多く保護するも「指定を待ひ掛けている」保護、継承が急まねばならない。横手市では、市独自の「地域遺産」として保護、継承していく取り組みの導入とする。地域をこどももつなぐ市民参加型の策定作業を継続し、今後の完成を目指す。福原 友

【秋田魁新報 平成31年2月24日掲載】

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度・令和元年度

項目

横手市歴史的風致維持向上計画の認識の促進

計画に記載している内容 市内の歴史文化について各種団体と協働しながらシンポジウムや歴史的風致めぐり等のイベントを開催し、市内外を問わず広く歴史的風致の情報の発信を推進する。また、歴史まちづくりを市民にわかりやすく伝えるため、市報やホームページ等を活用しながら、情報発信の検討を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【平成30年度】横手市歴史的風致維持向上計画の周知等を目的とし、歴史まちづくりシンポジウムの開催した。また、市報やパンフレット、FMラジオ放送等による情報発信を実施した。
【令和元年度】歴史的風致散策(増田編)を1回実施した(令和元年9月14日)。10名が参加し、専門のナビゲーターの案内のもと歴史的風致を感じながら町並みを散策した。また、パンフレットの更新やホームページによる情報発信も行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

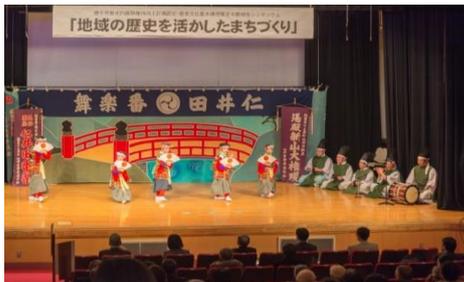
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

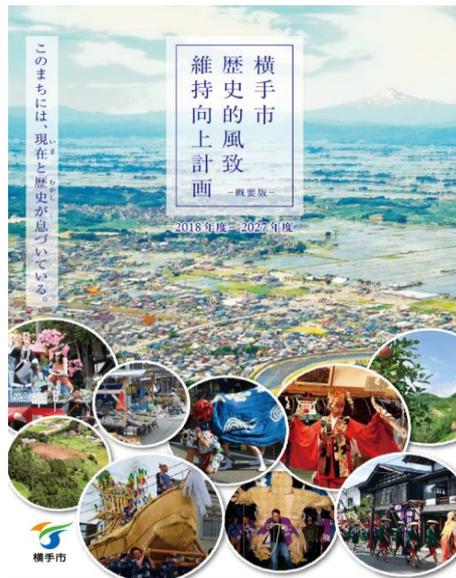
今後も継続して広報等を実施する。また、歴史的風致散策も継続して実施する。

状況を示す写真や資料等

【平成30年度】



「歴史まちづくりシンポジウム」の様子



歴史的風致維持向上計画広報パンフレット

【令和元年度】



「歴史的風致散策」今昔物語



「歴史的風致散策」の様子(月山神社)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度・令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称:平成30年度第4回横手市歴史的風致維持向上協議会 令和2年度第1回横手市歴史的風致維持向上協議会(書面開催)</p> <p>会議等の開催日時:平成31年3月2日(土)午前10時30分から午前11時50分 令和2年6月1日(月)(書面開催)</p> <p>【全体評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に進捗状況は妥当である。 ・着実に事業が進んでいっている様子であり、市の取り組みを高く評価する。 ・歴史的風致に対する市民の意識を醸成する事業は、順調に進捗している。引き続き、そうした事業を進めるとともに、今後は、意識の醸成を歴史的風致の維持向上に結び付ける取り組みを増やしていくことが課題である。 <p>【横手市増田伝統的建造物群保存地区修理等事業】 修理技術者に対する修理技術(伝統工法)向上にもつなげるなどの取り組みについて高く評価したい。</p> <p>【横手市増田伝統的建造物群保存地区防災施設等整備事業】 進捗状況は妥当である。文化庁調査官の現地指導を踏まえ、事業計画を適切に見直しながら、引き続き事業をすすめてもらいたい。</p> <p>【建造物文化財等調査事業】 大森の住宅及び発電所水路施設の文化財登録はぜひ進めていただきたい。</p> <p>【増田地区街なみ環境整備事業】 電線類共同溝工事は住民の皆様も大変だったと思うが、ようやくここまで来た。より美しい街並みとなることを期待している。</p> <p>【歴史的風致情報発信事業】 全国的に認知力の高い「じゃらん」ブランドを活用したご当地パンフレットの活用は評価できる。</p> <p>【市内歴史的風致映像撮影事業】 現在の状況を映像で残しておくことは大変重要なことであり評価できる。 一方で、その映像の活用を公的施設だけでなく更に多くの場所や媒体などで活用できるようにしていく必要がある。</p> <p>【ボランティアガイド養成事業】 国内客だけでなく、今後は外国人向けのガイドのニーズが高まるので外国語対応できるガイドの要請が必要である。</p> <p>【市民への周知について】 地域住民の参加を促す方策及び地域外へのPRにつながる取り組みの充実を希望する。</p> <p>【その他】 今後、案内の看板等について、事業ごとにバラバラな看板が出来上がってしまうと、せっかくの総合的な取り組みが台無しになってしまうので、全体を統一感のあるサインでやってもらいたい。</p> <p>【今後の対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致映像の活用については、令和2年度の映像作品作成の際に、公共施設以外での活用方法も念頭に置いて作成にあたる。 ・外国語対応できるガイドを増やせるよう引き続き育成事業を進めていく。 ・歴史的風致を紹介する市内歴史的風致映像作成事業や歴史的風致情報発信事業でのガイドマップや冊子の作成などにより周知を図り、歴史的風致の維持向上に結び付く取り組みにつながるよう意識の醸成を図るとともに相談体制の強化を図る。 ・案内看板については、横手市サインガイドラインを作成し、統一的な看板やサインの設置に取り組む。 	